

実践記録

学校名 / 学年	中学校 / 1年	
教科等 : 単元名	道徳 : 「チェーンメールへの対処」	
キーワード	チェーンメール 迷惑 公德心	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	a2,3 : 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ。
	中目標項目番号 中目標項目内容	a2-1 : 相手への影響を考えて行動する。 a3-1 : 他人や社会への影響を考えて行動する。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	チェーンメールを送ることによって、社会生活で互いに迷惑をかけることがないよ うな行動の仕方を学ぶ。	
使用教材	教材名	事例で学ぶ Net モラル
	製作者	三省堂
	入手先 (URL 等)	http://www.school.nagano-ngn.ed.jp/hirokyo/2010/contents/index.html

展開

	学習活動	指導 評価
導 入	チェーンメールとは何かについて知る。	チェーンメールにはどのようなものがあるか、具体 例を示す。 チェーンメールの内容が理解できたか。
展 開	チェーンメールの問題点について考える。 「事例で学ぶ Net モラル」チェーンメール編 を視聴する。	次にまわすことによってどのような状況になるか 考える。 ・メールがきた時の気持ちを考える。 ・メールを送った相手の気持ちを考える。 チェーンメールの問題点について理解でき、迷惑 メールであることが気づけたか。
お わ り	チェーンメールを受け取った時に、どのよう に対処したらよいか考える。	被害を大きくさせないためにどのような行動をと ったらよいか考える。 ・無視 (削除) することで拡大を防ぐ。 ・おうちの人に知らせる。 自分の行動で被害を防げることが理解できたか。

授業の成果

- ・以前、友達同士でチェーンメールのような遊びをしたという生徒が、社会的な問題であることが理解
でき相手の気持ちを考えなければいけないことに気づくことができた。

指導のポイント・留意点

- ・映像の場面を止めながら、その時々登場人物の心情を考えさせながら進めるとよい。